

令和6年10月20日

女性医師支援

ドクターバンク連携近畿ブロック会議

和歌山県医師会の
これまでの取り組みと
これからの課題

和歌山県医師会

理事

男女共同参画担当

濱田 寛子

於：奈良ホテル

和歌山県医師会男女共同参画推進委員会事業

1. 医学生をサポートするための会（日本医師会事業）
2. 研修医レターの発行 年2～3回
3. 「新研修医への講演」の立案・実施
→来年は県内研修医を集めてウェルカムパーティの予定
4. 地域における女性医師等支援のための会（日本医師会事業）
5. 女性医師の勤務環境の整備に関する
病院長、病院開設者、管理者等への講習会→2～3年に1回の予定
6. 和歌山県男女共同参画審議委員会参加
7. 女性医師再就業支援・相談窓口
日本医師会女性医師バンクとの連携
和歌山県青洲医師ネットとの連携
8. 研修会・フォーラムなどの託児サービス（日本医師会事業）

医学生をサポートするための会



あらゆるライフイベントを視野に入れ、
多様なキャリアデザインを検討

医学生をサポートするための会

日時 令和5年12月7日(木)

場所 和歌山県立医科大学 4階 臨床講堂 I

講 義

出席 20代：73名 30代：2名 計75名（4年生）

講演 「医学生のためのキャリア入門
～自分の未来をデザインしよう～」

演者 広島大学医学部附属
医学教育センター教授・センター長 蓮沼 直子

【内容】

夫は部活の先輩で、卒後和歌山で結婚しました。子供も生まれ実家がお互い遠いため、協力しながら子育てと仕事の両立を目指しています。自分は外科系のある診療科に進み、後期研修も順調で、専門医を取得しました。さらに専門を深めるため、ある手術の技術を身につけ、和歌山県立医科大学で活躍したいと思っており、そのことを上司に相談したところ、海外のスペシャリストを紹介してくれて、1年くらい勉強しに行っても良いと言ってもらえました。しかし、まだ子供は3歳ですし、国外に長期間研修に行くことは想定していなかったのですが、若いうちに技術をつけたいとも思います。

さて、どうしますか？

上記に対して

- ①このカップルの問題点
- ②選択肢3つ
- ③そのうちベストと思うものと、その理由をあげる

一人で留学

家族で留学

見合わせ

グループワーク



発表



Case

夫は部活の先輩で、卒後和歌山で結婚しました。子供も生まれ実家がお互い遠いため、協力しながら子育てと仕事の両立を目指しています。

自分は外科系のある診療科にすすみ、後期研修も順調で、専門医を取得しました。さらに専門を深めるため、ある手術の技術を身に付け和歌山県立医科大学で活躍したいと思っており、そのことを上司に相談したところ、海外のスペシャリストを紹介してくれて、1年くらい勉強にいいともいいとももらえました。

しかしまだ子供は3歳ですし、国外に長期間研修に行くことは想定していなかったのですが、若いうちに技術を身に付けたいとも思います。さて、どうしますか？

女性外科医の海外留学

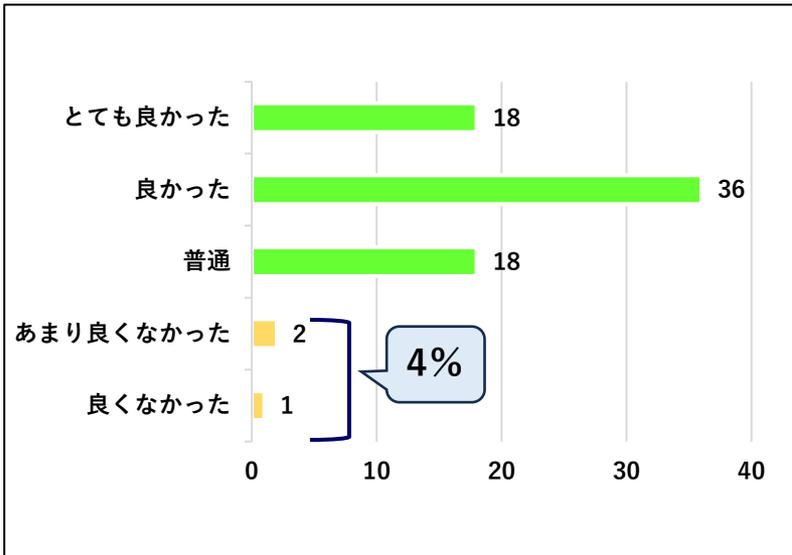


医学生をサポートするための会

アンケートの声

アンケート集計

感想



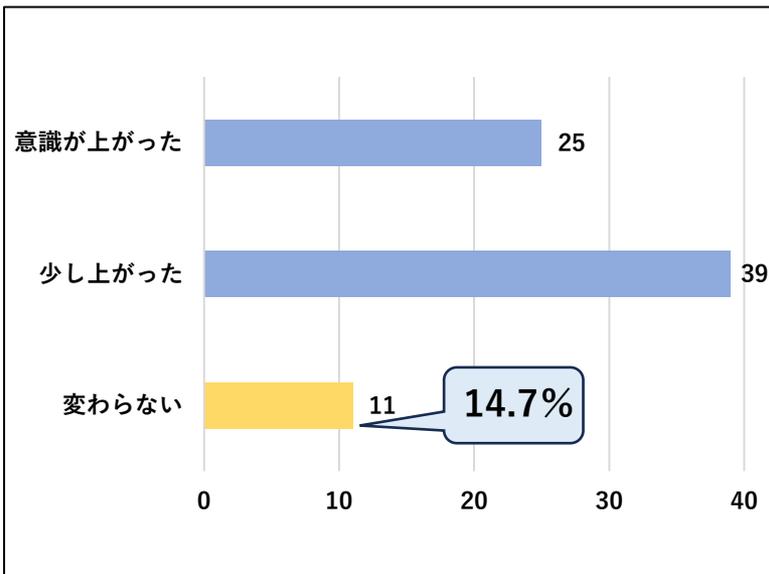
- ・参考になった
- ・違う意見を聞いて、自身と異なる考えを身につけられた
- ・将来のことを考えさせられた
- ・将来について考えるきっかけになった
- ・具体例が考えられたから
- ・自分で考えてみたことがなかったため良い経験になった
- ・事例をもとにキャリアについて考えることができた
- ・いろんな人生のあり方を知れた
- ・色々考えさせられた
- ・自分たちの班では出てこなかった考え方があり、興味深かった
- ・同級生たちと価値観を共有できたから
- ・色々な意見を聞いたから
- ・難問という点でよかった
- ・とてもわかりやすい説明だった
- ・このような討論をしたことがなかったため興味深かった
- ・PBC形式が良かった
- ・資料をもらえた
- ・これまで子供をもってからの実家との関係についてイメージしなかったから
- ・女性医師のキャリアについて考えるきっかけになった
- ・体調がよくないから
- ・実力主義でさえあればいいのでは
- ・特に得られたものがないと感じた
- ・内容が自分の想定を上回らなかった
- ・意見を聞くのがしつこすぎる
- ・そもそもワークの前提条件が絞られすぎていて作為性を感じた

医学生をサポートするための会

アンケート集計

アンケートの声

意識変化



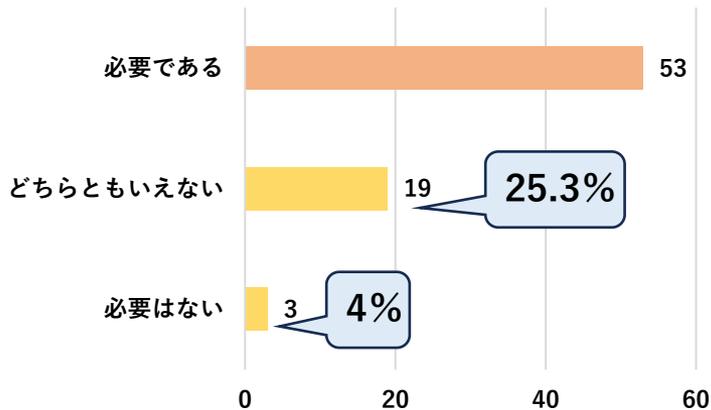
- ・ 具体例を通し意識が変わった
- ・ 子育てについて少し考えていたが、今回でより考えられた
- ・ 女性の活躍が医療の質の底上げになる
- ・ 妊娠、出産、子育てと仕事の両立は夫婦間の問題だけでなく、互いの両親や子どもと親の状況を含めて考えるべきだとわかった
- ・ 自分が当事者になりうる問題だから真面目に考えないといけないと思った
- ・ 人の意見を聞いて様々な考えができるようになった
- ・ 元々ワークライフバランスに意識はあったが今回でさらに考えられた
- ・ ワークライフバランスについて話を聞いたから
- ・ 女性医師バンクの存在を知ることができた
- ・ 今まで意識してこなかったことを考えられた
- ・ 厳しい現実を突きつけられたから
- ・ そのときの環境に依存するため当事者にしかわからない問題だと思う
- ・ 新しく得られたものがない
- ・ 特に上がらなかった
- ・ 時間が短い
- ・ 出産がキャリア形成の弊害という考えしかない状況が本当にやばいと思う

医学生をサポートするための会

アンケート集計

活動の必要性

アンケートの声



- ・考えられることなので必要
- ・知識が増えるから
- ・様々な選択肢を知る良い機会だと思う
- ・日本医師会女性医師バンクを知るきっかけになる
- ・男子学生の中には男女共同参画の意識が低い者がいるから
- ・男女双方の理解が必要だと思うから
- ・女性の働き方という将来直面しうる問題について、メリットデメリットを考える機会になったから
- ・興味ある人だけでなく全員が考える機会になるから
- ・これからの時代に必要
- ・出産を考えるうえで非常に重要
- ・知識を得ることで意識が変わると思う
- ・自分のように知らない人が多くいるだろうから
- ・男女ともに活躍するために皆が考えるきっかけになる
- ・近い将来向き合わなければいけない事柄について予め計画を立てられる
- ・現実的に考えるきっかけになる
- ・有益な情報提供が大切
- ・意識向上のため
- ・あまり興味がない
- ・あまり身についたものがなかった
- ・私生活で考える機会があるため
- ・考えるきっかけにはなるが、もう少し時期が後でもいいのでは
- ・その立場におかれたらなんとかしようとするから
- ・ありきたりな内容でももう少し現実的な具体的なケースを交えたものにしてほしいと感じた

【要望・意見】

- ・女性のキャリアアップは難しいと感じた
- ・物のセンスがない
- ・こういったセミナーは必要ないと思う
- ・女性の社会進出を推進する割には子孫を残すという大切な事業が廃れるというのは意味が分からないと思った

研修医しゅー



和歌山県医師会

〒640-8514 和歌山市小松原通1丁目1 県民文化会館
電話(073)424-5101代 FAX(073)436-0530
E-mail: ishikai@wakayama.med.or.jp

令和5年10月発行

医師会って何? (第1弾)

医師会の役割は2つあります。一つは「国民の生命と健康を守る!」こと。二つ目は「医師の医療活動を守る!」ことです。

医師会は任意加入団体ですが、現在全医師

の半数以上が所属しています。医師会は3層構造になっていて、令和4年11月時点で、郡市区等医師会に206,213人、都道府県医師会に191,146人、日本医師会に173,761人、所属しています(図1)。

医師会って開業医の会では?とと思っている方も多いかもありません。日本医師会の開業医の割合は39.9%。勤務医は9万人以上が所属しており、52.3%を占めます(図2)。日本医師会では、是非若い皆様に参加をお勧めします。医学部で学んできた医学は「科学」であり、国民に提供している医療は「制度」です。制度にはルールがあり、人によって作られています。この人の作るルールに現場の意見を反映させるために、医師会は動いています。

現場に生きている我々の意見を聞いてもらうためにはどうしたら良いと思いますか?「国民の生命と健康を守る!」ために、日々活動しています。地域に根差した医師会の活動(図3)を見て下さい。地域の時間外・救急対応や行政・医師会等の公益活動、地域保健・公衆衛生活動、多職種連携など多岐にわたっています。この活動なくしては、地域の医療は成り立ちません。毎日の活動の中でも、医師一人一人が深く医師会活動に関わっていることがわかります。この地道な活動の積み重ねの中で、「もっとこうしたらいいのに。」「これはおかしいのでは?」といった意見を郡市区等医師会でまとめ、県医師会で話し合い、日本全国レベルであれば、日本医師会から医療政策提案へと進んでいきます。一人でつぶやいても何も変わらないけれど、医師会で意見をまとめていくと動いていきます。現場の声は命です。しっかりと、医師会が受け止め進んでいきます。

入会ご希望の方は、和歌山県医師会
電話 (073) 424-5101
FAX (073) 436-0530
E-mail ishikai@wakayama.med.or.jp までご連絡を。

図1 3層構造の医師会組織



・3層の医師会は、それぞれ独立して運営されています
・現在の規約では、郡連邦医師会に入会するためには郡市区等医師会会員であること、日本医師会に入会するためには都道府県医師会会員であることが必要です

図2 日本医師会 会員数 173,761人

令和4年12月1日現在

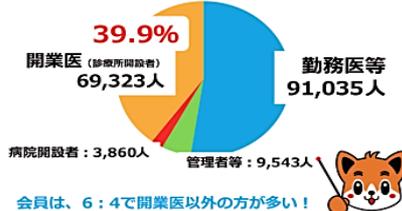


図3 地域に根差した医師会の活動

1. 地域の時間外・救急対応	平日夜間・休日輪番業務、地域行事の救護班、在宅当番医、休日複合救急センター、電話相談業務など(災害時には救護所・避難所への巡回診療、感染症拡大時には検査センターへの出稼など自らの地域を守る活動)
2. 行政・医師会等の公益活動	医師会・専門医会・自治会・保健所関連の委員、警察業務への協力、防災会議、地域医療に関する会議、地域ケア会議の出席、障害者認定審査会、介護保険認定審査会など
3. 地域保健・公衆衛生活動	母子保健、乳幼児保健(0歳6か月児健診・3歳児健診)、学校保健(学校健診、学校医活動)、学校健康教育(性教育、がん教育、禁煙、薬物教育)、産業保健(地域産業保健センター活動、職場の健康相談、産業医活動)、事業主健診(特定健診・特定保健指導)、高齢者保健(高齢者健診・認知症健診)、予防接種(定期・その他)、がん・成人病検診、市民公開講座(健康講座・介護教室)、精神保健、健康スポーツ医活動など
4. 多職種連携	訪問診療等の在宅医療ネットワークへの参画、介護保険関連文書の作成(主治医意見書等)、多職種との会合(ケアカンファレンス等)・ACPなど
5. その他	看護師・准看護師養成所、医師会共同利用施設への参画、高齢者の運転免許に関する診断書の作成、成年後見人制度における診断書の作成、死体検案、医療DX、医療GX、学術活動、高齢者・障害者施設への対応など

それぞれの医師会が医療現場を代表して、対応する行政に協力・折衝をしています

研修医の先生方へ、新宮市の一開業医より

谷地内科医院

谷地 雅宏



私は昭和61年に和医大を卒業しました。当時の卒後研修は自身の希望のもとに研修先を好きな期間選ぶストレート方式でした。まず内科全般の経験をしたいたいと思い、紀北分院内科から始めることにしました。紀北分院は当時内科、外科を始め多くの診療科で構成され、内科は郷里(新宮市)出身の大畑教授がおられました。血液や呼吸器を専門とされる教授門下の先生方に加え、消化器内科、循環器内科、代謝内科の各医局から出向されている助手の先生方で構成されていました。研修期間の多くを紀北分院内科で過ごさせていただきました。病院から100m程の距離に独身寮と呼ばれる宿舎があり、救急患者や受け持ち患者の急変等あれば我々研修医はオン・コールで呼ばれました。医局と病棟と独身寮で毎日が終わるという生活でしたが、他の研修医の先生方と一緒に机を並べ過ごした期間は、今も記憶の片隅にあり、ふとした瞬間に蘇ることがあります。朝、夕と病棟点滴に周り、準夜勤務後はには夜勤看護師と一緒に点滴詰めを行い、仕事が終

和歌山県内配布

臨床研修病院 9病院

各病院 83病院

各郡市医師会

研修医しぐさ



和歌山県医師会

〒640-8514 和歌山市小松原通1丁目1 県民文化会館

電話(073)424-5101代 FAX(073)436-0530

E-mail: ishikai@wakayama.med.or.jp

令和6年4月発行

医師会って何? (第2弾)

日本医師会は、医師を代表する唯一の団体として、医療現場の声を国に届けるために、日々活動しています。

皆様の声を届けるため、厚生労働省をはじめ

内閣府、内閣官房、文部科学省、環境省、国土交通省、経済産業省、消防庁、こども家庭庁など、14の省庁等にわたる約200各種会議に参画しています。

医療現場の声を要望書などの形に取りまとめ、関係各方面に働きかけています。

県医師会から日本医師会へ要望をとりまとめて届けるのが、代議員です。各都道府県の医師会会員数で決定しますが、和歌山県の医師会会員数は1,500名に少し足りなくなっていました。1,500名に足りなくなると、4名から3名に減ってしまいました。一方、医師会会員数の多い都会地域の代議員は増加しています。民主主義は多数決で決まりますが、人口減少地域の医療充実が、我々の医師会活動にかかっています。若い皆様の入会行動が、地域の医療充実の原動力となります。日本医師会へ、ご入会下さい!

入会ご希望の方は、和歌山県医師会

電話 (073) 424-5101

FAX (073) 436-0530

E-mail ishikai@wakayama.med.or.jp までご連絡を。

ニューレジリエンス フォーラム 和歌山県大会



和歌山県医師会では、3月2日に「ニューレジリエンスフォーラム和歌山県大会」の呼びかけを行いました。和歌山県医師会平石英三会長が「感染症と自然災害に強い社会を」作ってほしいと、医療界、経済界、防災関係、自治体などの現場の声を広く集め、政府、各政党、国民各界に提言を行うフォーラムを行いました。



バックナンバー

1~17号まで

和歌山県医師会HP

女性医師支援・

男女共同参画 に掲載



医療現場の声を国に届ける

図1 医療現場のイメージ

新規採用研修医に対する講演

年度	C会員 入会者数	備 考
令和6年	1人 (32人)	・ 新規採用研修医に対する講演 (医大)
令和5年	13人	・ 新規採用研修医に対する講演 (医大)
令和4年	10人	・ 新規採用研修医に対する講演 (医大)
令和3年	0人	・ 新規採用研修医に対する講演 (医大)
令和2年	0人	* 中止
平成31年 令和元年	2人	・ 新規採用研修医に対する講演(医大) ・ 新臨床研修医歓迎会
平成30年	8人	・ 新規採用研修医に対する講演 (医大・日赤) ・ 新臨床研修医歓迎会
平成29年	1人	・ 新規採用研修医に対する講演 (医大・日赤) ・ 新臨床研修医歓迎会



地域における女性医師等支援のための会

令和6年度 再就業講習会事業

新企画

『地域における女性医師等支援のための会』

日時 令和6年8月24日(土) 16:00~17:30

場所 和歌山県民文化会館 6階 特別会議室

対象 女性医師(産休、育休中の医師)
女性医師を支援する必要がある医師等(男性医師も歓迎です)
妊活・婚活中の医師・女子学生や、その御父兄も歓迎です

一緒に懇談しましょう!

16:00~ 開会挨拶 和歌山県医師会 会長 平石 英三

16:05~【座長】 和歌山県医師会 理事 濱田 寛子

講演

『研究、開業と非医師の配偶者との 育児、家庭生活』

うつのみやレディースクリニック 院長

宇都宮 智子

プロフィール

和歌山県立医科大学卒業後、2010年11月に、一般不妊治療から生補補助医療(体外受精、顕微授精)まで不妊治療を行うクリニックを開業。夫は研究者で、医師ではない。また、二人の実家は、仙台と大分という遠方。二人の子供を育てながら、キャリアを維持するモチベーションや生活工夫を余すことなく聞いてみたい。資格は以下の通り。

- ・医学博士
- ・日本産婦人科学会認定 産婦人科専門医 ・指導医
- ・日本生殖医学会認定 生殖医療専門医 ・指導医
- ・日本人類遺伝学会 ・日本遺伝カウンセリング学会認定 臨床遺伝専門医
- ・日本臨床細胞学会認定 細胞診断専門医
- ・母体保護法指定医師
- ・日本生殖心理学会認定 生殖医療相談士(不妊コンサルタント)
- ・日本がん ・生殖医療学会認定 がん ・生殖医療ナビゲーター

17:30~閉会挨拶 和歌山市医師会 理事 秋岡 嘉美

主催：和歌山県医師会 共催：日本医師会

出席申込・託児希望は裏面をご利用ください。

令和5年度



令和6年度



女性医師の勤務環境の整備に関する 病院長、病院開設者、管理者等への講習会

日時：令和5年9月30日（土）15:00～17:00

場所：アバローム紀の国4階 羽衣の間

【開会の挨拶】 和歌山県医師会 会長 平石英三

【司会】 和歌山県医師会 理事 加藤正哉

1. 医師会作成の動画(16分)

かがやけ女性医師！

みんなでつくる『働き方改革』



2. 令和5年5月実施の『施設長・部署長へのアンケート』結果報告

和歌山県医師会 理事 濱田寛子

3. 医師の働き方改革と『女性が働きやすい医療機関』認証制度について

座長：和歌山県立医科大学附属病院 副病院長 川股知之

講師：三重県立総合医療センター 院長 新保秀人

4. シンポジウム

座長：和歌山県立医科大学附属病院 副病院長 川股知之

シンポジスト 三重県立総合医療センター 院長 新保秀人

日本赤十字和歌山医療センター病院長 山下幸孝

和歌山県立医科大学

医学部公衆衛生学教室 准教授 北野尚美

和歌山ろうさい病院呼吸器内科部長 辰田仁美

【閉会の挨拶】 和歌山県医師会

副会長 上林雄士郎

【交流会】 17:00～19:00

講演会終了後、ささやかではありますが
交流会（食事会）を予定しております。
ご多忙とは存じますが、是非ご参加
下さい。



主催：和歌山県医師会 共催：日本医師会



和歌山県男女共同参画審議会

審議会委員 令和4年8月1日から令和6年7月31日

審議会は、公募委員2名を含む14名の男女共同参画に関する有職者で構成されており、男女共同参画の推進に関する重要事項等についてご意見をいただいております。

審議会委員

氏名	役職名等
	会社員（公募）
	和歌山大学観光学部観光学科 教授 観光学部 学部長
	和歌山大学経済学部経済学科 准教授 男女共同参画推進室 室長 インクルージョン支援推進室 室長 インクルージョン支援推進室 室長
	和歌山県農業協同組合中央会 常務理事
	和歌山労働局 雇用環境・均等室長
	特定非営利活動法人チーム紀伊水道 理事長
	弁護士
	特定非営利活動法人きのくに子どもNPOほっとルームぐるんぱコーディネーター
	会社員（公募）
	和歌山県女性会議 会長
	株式会社インテリックス 管理部人事総務課長
	一般社団法人 和歌山県医師会 理事
	部落解放同盟和歌山県連合会女性部 事務局長
	連合和歌山 会長

令和5年8月23日	
資料提供	
担当課（室）	青少年・男女共同参画課
担当者	松尾
電話（直通）	073-441-2510

令和5年度 第1回和歌山県男女共同参画審議会を開催します。

- 1 日時 令和5年8月29日（火）13時30分～15時30分（予定）
- 2 場所 アバローム紀の国 2階 鳳凰の間
（和歌山市湊通丁北2丁目1の2）
- 3 主な議題
 - 令和6年度実施事業案について
 - 和歌山県男女共同参画基本計画と今後の取組について

和歌山県男女共同参画審議会とは

- ◎設置根拠 和歌山県男女共同参画推進条例
- ◎設置年度 平成14年度
- ◎主な所掌事項
 - ・知事の諮問に応じ、男女共同参画の推進に関する重要事項を調査審議すること
 - ・県が実施する男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について必要に応じ調査し、及び意見を述べること
 - ・上記のほか、男女共同参画に関する重要な事項について、知事に意見を述べることができる

県男女共同参画基本計画（第5次）に基づき、
○男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
○誰もが安全・安心に暮らせる社会づくり
○男女がともに活躍する社会づくり を柱に施策を実施する。

施策の方向Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり

- 男女共同参画に向けた意識改革（固定的役割分担意識、無意識の思い込みの払抜）
 - ・意識改革のための広報・啓発等を推進
 - 各種セミナー・交流会、研修用動画の活用（新規）、出前講座、理工系企業見学バスツアー等
- 相談体制の充実
 - ・男女共同参画センター“りいぶる”における総合相談等

施策の方向Ⅱ 誰もが安全・安心に暮らせる社会づくり

- 性的少数者への支援
 - ・パートナーシップ宣誓制度の運用・周知（新規）
 - ・行政職員向けLGBT研修、事業者向けLGBT研修
- 性的少数者への理解促進
 - ・県民が正しい理解を深めるため、広報・啓発等を推進
 - ・行政職員向けLGBT研修、事業者向けLGBT研修（再掲）
- 相談体制の充実（再掲）
 - ・男女共同参画センター“りいぶる”におけるLGBTQ相談等

施策の方向Ⅲ 男女がともに活躍する社会づくり

- 女性が活躍できる環境整備の促進
 - ・働く女性の活躍を応援する企業等で同盟を組織し、優れた取組を共有
 - 女性活躍企業同盟 926（R5.7末）
- 政策・方針決定過程への女性の参画拡大
 - ・県審議会等への女性委員登用を拡大

～女性医師の就業・復職（再研修）支援事業～

日本医師会女性医師バンク



公益社団法人 日本医師会
女性医師支援センター

Japan Medical Association Woman Doctor Support Center



女性医師バンクの広報活動

各医師会研修会
にて1回上映

女性医師バンクのPR動画

新しく女性医師バンクのPR用動画を制作いたしました。(40秒弱2パターン)

今後は、学会や各種講習会、研修会などで流していただき、
女性医師バンクのさらなる認知向上を図ります。

■頑張るあなたに寄り添いたい編



■あなたの力を未来につなげる編



<https://www.med.or.jp/joseiishi/article036.html>

和歌山県医師募集情報サイト 青洲医師ネット

和歌山県が実施している「青洲医師ネット」事業について

令和5年8月29日 県医務課

概要

青洲医師ネットは、和歌山県内で働きたい医師と医師を募集する医療機関の間に立ち、**医師の働き先を紹介する事業**

採用実績

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
求人掲載数	170	170	169	157	156	155	153	154
青洲医師ネットに登録した求職者数	3	2	2	1	2	4	5	6
採用者数	1	1	2	1	0	0	1	0
採用先	和歌山県	白浜はまゆう病院 (外科)	白浜はまゆう病院 (内科)	今村病院 (外科非常勤週1回)	—	—	和歌山県	—

【補足】

- ・紹介者 84名 (うち女性11名)
- ・採用実績 20名 (うち女性2名)

女性医師の希望勤務先は、公衆衛生医師が多い。
しかし、公衆衛生医師として採用されたのは、
過去7年で2人。公衆衛生医師の確保は今後も課題。

参考

採用までの流れ

① 求職者が青洲医師ネットに医師登録



② 本人の意向を確認後、該当する医療機関に県から連絡



③ 求職者と医療機関が直接やりとりをして採用が決定

女性医師支援策

➤ 出産後の職場復帰を支援

和歌山県立医科大学のワークライフバランス支援センターと連携して**女性の職場復帰のお悩み相談や復職支援を実施**

➤ 情報提供

「**女性医師のための子育て両立支援**」として専用サイトに**わかやま子育て支援ポータルサイト**や**ファミリーサポート**等の情報を掲載

医師会主催の研修会等への託児サービス併設費用補助について

2023年6月7日

(要旨)

各地域の医師会が主催する研修会、講習会、講演会等に託児サービスを併設するための費用を補助し、育児中の医師に対して学習機会を確保することにより、勤務継続及び復職の支援を行います。

1.対象	都道府県医師会または郡市医師会が主催する研修会、講習会、講演会等。 ※従来、「営利団体等との共催によるものを除きます」としておりましたが、営利団体等との共催につきましても対象とします。
2.期間	令和6年4月から令和7年2月実施分
3.申請方法	県医師会が県医師会および管内の郡市医師会開催分をとりまとめ、申請書および支出明細に領収書の写しを添付して申請します。(限度額以内) なお、締め切りは、令和6年4月～11月実施分を令和6年12月5日(必着)、それ以降に開催された分については、令和7年2月28日(必着)とします。
4.問合せ	和歌山県医師会

過去3年間
コロナ禍のため
実績なし

ベビーシッター業者と契約済み

郡市医師会会長、理事の皆様へ

1. 和歌山県医師会 男女共同参画推進に対する
ご意見、ご要望、ご感想をお寄せください。
2. 担当地域でご活躍のロールモデルとなるような、
ご夫婦、女性医師、女性医師らを支援する上司
(病院長、病院管理者、医局長など) をご紹介下さい。

苦勞した点、工夫した点など情報交換をしてまいりたく
存じます。

和歌山県医師会 男女共同参画推進委員会まで

担当：濱田、森、加藤、山本まで

TEL: 073-424-5101 FAX: 073-436-0530

E-mail ishikai@wakayama.med.or.jp

hamasan@naxnet.or.jp (濱田)まで



ご清聴ありがとうございました